

草加市
みんなでまちづくり
じ ち き ほん じょう れい
自治基本条例
のことが分かる



みんなで
まちづくり

副 読 本



き かく
企画・編集

きょうどう
草加市協働のひろば運営会議

身近な公園から
まちづくりを
考えてみよう



クイズ 1～5の公園、それぞれ
どこにある公園でしょう？

第1問 【ヒント】大きなふん水が特ちょうの公園。スケートボードができる場所もあるよ。また災害時にも活用できるように、たくさんの工夫があるよ。

答えはうら表紙▶

草加のまちには
すてきな公園が
いっぱいありますね
みなさんの家のまわりは
どうですか？

ふん水がある公園を見に
行ったんだ！
すごかったよ！

知ってる～
春の子どもフェスタとか
ふささら祭りも
やってるよ

災害のときには、
ヘリコプターが
着陸できるんだって

フサコさん

ダイキくん

モモさん

ユイくん

もくじ

身近な公園からまちづくりを考えてみよう

写真の公園、
どこにある公園でしょう？ p.2

公園をつくるとしたら
どんな公園が欲しい？ p.4

たいへんだ！
みんなの意見が違^{ちが}う p.5

みんなが
行きたくなる公園って？ p.6

市民が意見を出し合っ^{いっ}て
できた公園・緑道 p.7

まちづくりって何？

まちづくりって
何だろう？ p.8

まちづくりグループの
活動紹^{しょうかい}介 p.10

みんなの力で
まちを変える p.12

だれもが幸せな
まちをつくる p.13

アクションを起こす

まちづくりアクション
ワークシート p.14



第2問 【ヒント】緑がいっぱいの公園。公園内にはベンチも多いから、散歩ができる憩いの場として人気だよ。バスケットやキャッチボールができる広場もあるよ。



第3問 【ヒント】平成27年に完成した新しい公園。人工の池にはかつての水田の風景が再現されているよ。ヤゴやアメンボなどの水生生物が戻ってくるかな？



第4問 【ヒント】公園の形が丸くて真ん中に山があるユニークな公園。山を降りるすべり台が楽しいよ。地下には洪水を防ぐために大きな水槽があるんだって。



第5問 【ヒント】広場、遊具、グラウンドがある公園。周辺町会が公園を管理していて、クリスマスのイルミネーションや鯉のぼりなどで季節を楽しませてくれるよ。



公園をつくるとしたら どんな公園が欲しい？

サッカーが
できる公園！

どろんこ遊び
最高！

木登りも
やってみたいな～

うわ～楽しそう
でも公園を利用するのは
子どもだけじゃないよね
まちの人にも
聞いてみよう

小さい子でも
安心して遊べる
遊具が欲しいな

子どもに
思いっきり
水遊びをさせたいな

スケートボード
オリンピック種目に
なったからね



水場や
シャワーも
あるといいな

季節が
感じられる公園
ゆったり歩いて
「ここで一句！」なんて

日よけがあって
ベンチに座れると
いいよね

地域の
いろんな世代が
交流できるイベント
会場がほしいな

たいへんだ！ みんなの意見が違う

たいへんだ
いろんな意見が
出てきたぞ

公園って
遊ぶだけじゃ
ないんだね…

利用する人の
年齢によっても
いろいろね

いいこと
ばかりじゃなくて
心配なことも
あるかも
しれないね



木が多いと
枯れ葉が散って
毎日、掃除が
たいへんだよ～

ボール遊びは禁止！
小さい子には
危ないからね

たまり場になるのが心配
トイレが壊されたり
さわいだり
迷惑になってる

不審者が心配
危険な場所を
なくして欲しいわ

ごみを
捨てていく
人もいるよ



心配なことも
いっぱいあるね

でも、危ないからって
ぜんぶ禁止にしたら
つまらない公園に
なっちゃうなあ



みんなが行きたくなる 公園って？



小さな子どものいる家族も
おじいちゃんも、おばあちゃんも
若い人たちも、障がいのある人も、
だれも行きたくなる公園って
どんな公園なのかな？

大人が遊びの
リーダーをすれば
楽しいし
安心できるね

みんなが楽しめる
遊びを持ち寄って
おまつりなんかも
できるといいよね



映画会なんかもあれば
夜も楽しいよ

ごみの
持ち帰りは
市民のマナーだね

草刈りとかお掃除とか、
自分たちで
公園に手をかければ
親しみがもてるかもね



いつ行っても
仲間がいっぱいいれば
楽しいよね

草加のまちには
みんなが意見を出して
つくった公園や緑道が
あります
7ページの公園や緑道が
その例です



へえ～
キャッチボールや
水遊びができる
公園もあるの？

行ってみた～い



市民が意見を出し合っ てきた公園・緑道の例

瀬崎蒲原公園

みんなが声を出し合っ て整備しました

以前は、利用する人も少ない公園でした。みんなに親しまれる公園にしようと、地域の人達が集まって相談し、「みんなでまちづくり会議※」に提案しました。

遊具は、公園の一か所にまとまっていて目が見えやすく安心して遊べます。地域の歴史とともに成長してきたサクラやケヤキなども繁っていて、緑がいっぱい。公園の外周の一部にボール遊び用のフェンスもありますがバットでの打撃などは禁止になっています。子どもから高齢者まで誰もが安心して楽しめる公園をめざしています。

※「みんなでまちづくり会議」は、草加市みんなでまちづくり自治基本条例に基づいて、まちづくり計画を提案することができる場です。



▲春には藤の香りが運ばれて、葉が木陰を作る



▲すべり台など楽しめる遊具がいっぱい



◀シンボルとしてそびえ立つ大きなケヤキの木

瀬崎ふれあい通り親水緑道

じゃぶじゃぶ 水遊びができる緑道

昔は、「まえ堀」と呼ばれ、ドジョウなどがとれた用水路でした。田んぼがなくなってからは、荒れて悪臭もありました。何とかしたいと地域の人達が相談して、「みんなでまちづくり会議※」に「ふれあい通り親水緑道計画」を提案しました。

緑道に整備されてからは、昔よりも、もっと楽しめる場所にしようと、草加市と市民が協力してゴミをなくしたり、季節の花を植えたりしてきれいにしています。緑道内には、じゃぶじゃぶ池という水遊びができる所や休けいできるベンチがあり、憩いの場所になっています。平成25年度には草加市のまちなみ景観賞を受賞しました。



▲年間を通してアイリス等の草花が楽しめる



▲井戸水を利用したせせらぎを楽しめる



◀水飲み場とふん水のあるじゃぶじゃぶ池

まちづくりって 何？

まちづくりって 何だろう？

産業

メイドイン草加の製品をみんな
で応援しよう！
ところで草加市の名産って何
があるか知ってる？



福祉

体の弱い高齢者や障がい者、
妊娠中の女の人…。まちのな
かで困っている人を見かけたら、
声をかけてお手伝いしまし
ょう。



かんきょう 環境

まちがきれいだと気持ちがい
いね。清掃活動やみどりを大切
にする活動など、できることが
あるかも。資源を大切にしたり、
リサイクルしたり、地球規模の
環境も身近なことから。



安全

車の交通量が多い道、人通
りが少なくてさびしい道、猛
スピードで通りすぎる自転車
…。まちの中にある危険を
見つける力をつけるのも、大
切だね。



学校

学校生活がどうすればもっと
楽しくなるでしょう？ どうす
ればいじめがなくなる？
まちづくりは身近な困りごと
の解決から。みんなで考え
よう。



健康

健康第一！
栄養バランスのとれた食事、
体力づくり、病気の予防が
健康のかねめです。



防災

地震や台風の災害時に一番
大切なのは、命を守ること。
防災にはご近所同士の助け
合いが欠かせません。



文化

お祭りや運動会など、地域
の行事にも参加してみよう。
ご近所さんと顔見知りにな
れば、昔の遊びを教えてくれ
るかもしれないよ。



まちづくりグループの活動紹介

へえ～
色々な活動があるんだ

■草加パドラーズ

カヌーで遊び体験と清掃の一石二鳥

昭和50年代後半の綾瀬川は、高度経済成長に伴う工場排水や家庭排水などで、15年間日本一汚れた河川でした。その後、市民の力で少しずつ改善されてきましたが、川面には、まだまだ不法投棄のゴミなどが浮かんでいます。

平成26年、私たちは「草加パドラーズ」を発足させ、カヌーで浮遊ゴミの回収活動を始めました。毎週水・土・日の午前中、綾瀬川左岸船着場付近から草加松原沿いを清掃。月に1回は、獨協大学の学生たちと伝右川のゴミ拾いを実施しています。毎年、夏休みにはカヌー教室なども開催し、水辺に親しんでもらう活動も行っています。



▲うまくカヌーが漕げるようになりました



◀夏休みカヌー教室、とても楽しかったです

■NPO法人 冒険あそび場ネットワーク草加

火を使ったり 木登りしたり 自由に遊べる場づくり

私たちは、草加市文化会館の隣で、「冒険松原あそび場」を運営しています。このあそび場は、15年前に草加市と話し合って作りました。

冒険あそび場は、「自分の責任で自由に遊ぶ」という考え方のもとに、木登り、穴掘り、たき火、工作や基地づくりなど、子どもたちがやりたいと思うことを自由にできるあそび場です。

あそび場には、遊びや悩み事の相談にのったり、一緒に遊具を作ったり、子どもの立場に立って見守ってくれるプレーリーダーがいます。火曜、水曜をのぞき毎日開園しています。だれでも自由に遊べ、幼児も泥んこになって遊んでいます。毎年、延べ14,000人以上の人が遊びに来ています。ぜひ遊びに来てください。



▲冒険あそび場の趣旨を書いた看板がある



▲力を合わせてロープを張ったら冒険の始まり

■特定非営利活動法人 みんなのまち草の根ネットの会

誰もが安心して暮らせるまちにユニバーサルデザイン調査

「多目的トイレとなっても市内で安心して利用できるのは数か所です。」との車イスのAさんの訴えが調査のきっかけとなりました。市内の公共施設30か所を、各障がい者の視点から、多目的トイレ・スロープ・点字ブロック・手すり・障がい者専用駐車場等の安全性・利便性を調査しました。そこから出てきた設備の充実や改善してもらいたいことを、写真を添えて報告書にまとめました。

この調査を受けて、草加市は一步步ですが、充実・改善を始めています。また、アコスホールの舞台へ昇降する電動リフトの寄付を受けるというサプライズもありました。

「なぜ?!」との疑問と誰もが安心して暮らせるまちにとの願いと行動とが、実現に向かって進める力となりました。



▲誰もが使いやすい駅の中の多目的トイレ



▲二段あると誰でもつかみやすい手すり

▲黄色で床との差が分かりやすい点字ブロック

■高砂・住吉・中央(TSC)地区まちづくり市民会議

地域のきずなを深める防災広場づくり

【草加中央防災広場】

団地の建替えて広い空地ができました。私たちはこの空地が大好きで野外映画やたこあげ、グラントゴルフなどで何年も使いました。「広場は大事です。空地のまま残してください。」と草加市に提案して防災広場が誕生しました。普段はみんなで遊べる広場、災害時は防災設備がある避難場所となります。広場には、かまどになるベンチや井戸水を使ったトイレ、地域の防災本部になるあずまや※も整備されています。草加駅の近くに広い空地を残すことができました。

※あずまや…休けいできる簡素な建物



▲普段は楽しく遊べる広場



▲大きなベンチがかまどに早変わり

▲災害用トイレに使う水がくめるよ

みんなの力で まちを変える

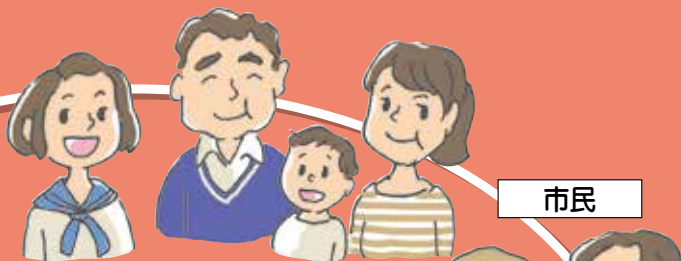
草加市では、市民がまちづくりの主役になれるようにルールをつくりました。平成16年（2004年）にスタートした「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」です。

市民と市の職員、もちろん市長も市議会議員も、みんなで協力し合っ
てまちづくりに取り組んでいます。



草加市 みんなでまちづくり 自治基本条例※

※条例とは
市町村、県などの自治体が
独自に決められるまちの
ルールです。自治体におい
て法律と同じ役割を果たし
ます。



市民

どうすれば
もっと住み良いまちに
なるか、みんなで
考えよう！



市長と市の職員



まちづくりの専門家



市議会議員



もちろん！
まちづくりは草加に住む人
みんなのもの。積極的に
関わってほしいな

大人になっても
続けていかなくてはね

わたしたち小学生でも
まちづくりに
参加できるの？

ほくたちにできること
あるかな



だれもが幸せな まちをつくる

この条例がめざす目標の、
「だれもが幸せ」ってどうい
うことだろう？

自分だけが良くて
だめってことだね

高齢者もうれしいこと
障がい者も楽しいこと
若い人が元気になること
だよな

みんなからも
意見を聞かなくちゃ



自治基本条例で 何ができるの？

この条例の特ちょうは、市民がまち
づくりの計画段階から市政に参画
して、発言したり提案したりでき
るようになったことです。
仲間づくりのしくみができ、草加市
が市民のまちづくり活動を応援す
るしくみもできました。

くらしの中で困っていることを解決
して、草加のまちを素敵なまちに
変えることができるかもしれない
ね。



市民が草加市に
まちづくりについて
提案ができる

まちづくりの仲間と
つながるしくみが
できた

まちづくりの活動を
草加市が応援する
しくみができた

アクションを
起こす

まちづくりアクション ワークシート

まちを良くするアイ
デアを考えるワーク
シートです。グルー
プでチャレンジすると、
きっとすごいアイデア
が生まれるよ。



1 草加のまちの良いところと、いやだなと思うところ
をあげて、どうしてそう思うのか考えてみよう

●良いところ

●悪いところ、いやだなと思うところ

●どうして?

●どうして?

2 「こんなまちだったらいいのに」と思うまちを想像して
ことばにしてみよう

3 どうすれば良いまちになるか
具体的に書いてみよう

●だれのため?

●みんなに協力して
ほしいことは何?

●実現するために
自分でできる
ことは何?

保護者や学校の先生、地域のみなさん、草加市で働くみなさんへ

わがまちを住みやすくする 自治基本条例

「草加お宝かるた」より

平成16年10月1日施行



草加市のまちづくりの目標は、みんなが協力して「だれもが幸せなまち」をつくることです。

この副読本は、その目標を実現するために制定された「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」を子どもたち（主に小学校6年生）に伝え、理解してもらうためにつくりました。まちづくりは、市民、市議会、市（市長をはじめとする市の職員のみなさん）が、それぞれ役割を担いながら、協力しあうことです。

市民の一員である子どもたちが、それぞれの発達段階に応じて、草加市に関心を持ち、まちづくりに向けた提案をすることは、とても大切なことだと思います。大人をはじめ、市議会や市のみなさんは、子どもたちの提案に耳を傾け、どうすれば「だれもが幸せなまち」をつくることができるかを、ともに考え行動してくださることを期待します。そういう体験をした子どもたちは、大人になってから地域やそのほかのあらゆる課題の解決に向けてともに考え主体的に行動するようになるでしょう。仮に草加市を離れたとしても、自分の大切なふるさととして草加市を誇るようになるでしょう。

私たち、市民活動センター協働のひろば運営会議は、このような願いのもとにこの副読本を作りました。

草加市みんなでまちづくり自治基本条例（前文）

（平成16年6月18日条例第23号）

私たち草加市民は、このまちと人を愛し、デモクラシーの精神にのっとり、このまちが「市民の市民による市民のため」の存在であることを自覚し、すべての市民の自由と平等と公正を保障する「だれもが幸せなまち」をつくります。

市民、市議会、市が市民自治を原則として、それぞれが主体的に次代をも見据えたまちづくりを行うため、ここに草加市みんなでまちづくり自治基本条例を制定します。

草加市みんなでまちづくり自治基本条例
みんなでまちづくり副読本

■平成29年（2017年）10月

■企画・編集 草加市協働のひろば運営会議

■発行 草加市みんなでまちづくり課 市民活動センター

電話：048-920-3580

住所：〒340-0023 草加市谷塚町752番地

メール：simin-katudo@city.soka.saitama.jp

P2、3のクイズの答え

- ①綾瀬川左岸広場（松江）
- ②清門中央公園（清門）
- ③松原団地記念公園（松原）
- ④原第4公園（原町）
- ⑤中根町ふれあい広場（中根）